

第4回保全生態学

夏の学校 in 庄原

保全研究と現場のギャップ

を考える

— 地域に根差した生物多様性保全を目指して —

開催日：

9.26(土) - 27(日)

開催場所：

広島県 庄原市

9月26日@広島県立せら県民公園
& 庄原市立比和自然科学博物館

①エクスカーショ※自由参加

時間：7:30-10:00

内容：希少種ヒョウモンモドキの
生息地整備

②基調講演※オンライン配信あり

時間：12:30-15:50

<講演者>

浅野 悟史 京都大学 准教授
大澤 剛士 東京都立大学 准教授
大矢 樹 広島県立せら県民公園 職員
白川 勝信 登別市観光交流センター
「ヌプル」副センター長・学芸員
坪井 潤一 国立研究開発法人 水産研究・
教育機構 水産技術研究所
主任研究員
秋山 美文 庄原市立比和自然科学博物館
客員研究員, 広島虫の会会長

主催：保全生態学若手の会
共催：庄原市立比和自然科学博物館
協力：公益財団法人 日本自然保護協会
後援：日本生態学会 中国四国地区会
庄原市教育委員会
協賛：日本フライフィッシング協会
助成：公益財団法人中辻創智社

9月27日@ひろしま県民の森

③エクスカーショ

時間：9:30-11:30

内容：世界南限のイワナ個体群の
ひとつ“ゴギ”の生息地見学

<話題提供者>

立河秀作 庄原市文化財保護審議会委員
佐々木悠人 愛媛大学 博士後期課程 学生

④グループディスカッション

時間：11:30-12:30

内容：「私の考える、保全研究と
現場のギャップ」

⑤「ミルクの中のイワナ」

上映会※自由参加

時間：12:30-14:00

お申込みはこちら→

